

2025年8月28日

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

9月1日は防災の日
2025年度 災害不安に関するアンケートレポート
 調査期間：2025年7月17日～7月20日

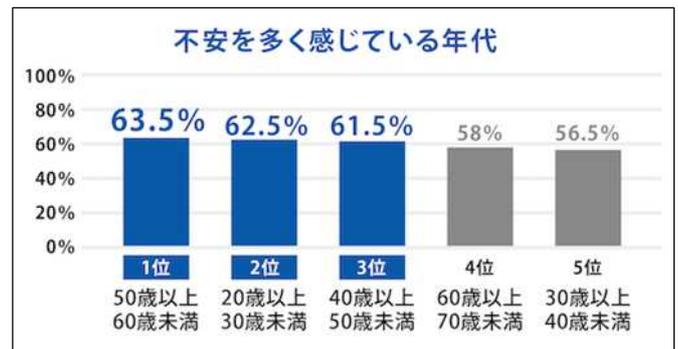
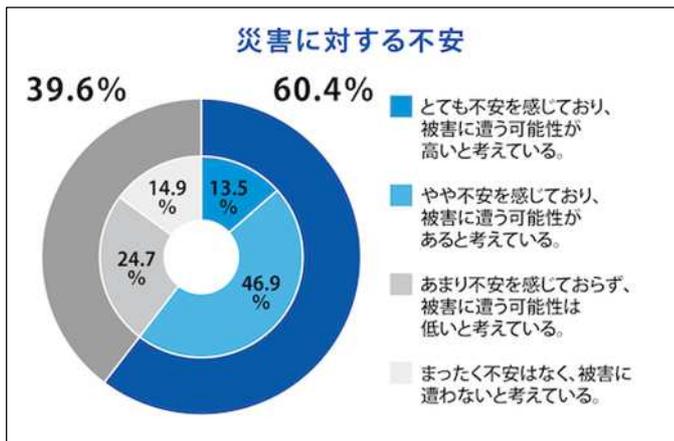
近年、地震や豪雨などの自然災害が多発しており、火災保険で対応する事故のうち、5割近くの原因を自然災害が占めるようになってきました。

ジェイアイ傷害火災保険株式会社（代表取締役 兼社長執行役員：金子和彦）では、皆様が災害のリスクを認識し、必要な対策を検討していただくことを目的として、防災の日にあわせて各地域・年代の方々に災害への不安についてアンケートを実施しています。

アンケートの集計結果は、[別紙](#)のとおりまとめました。

1. 結果：

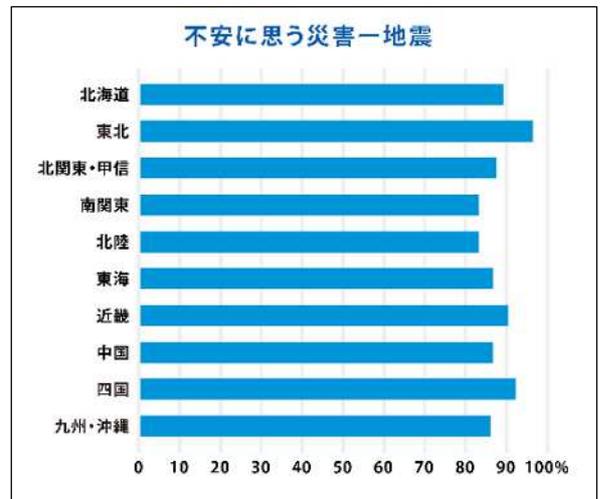
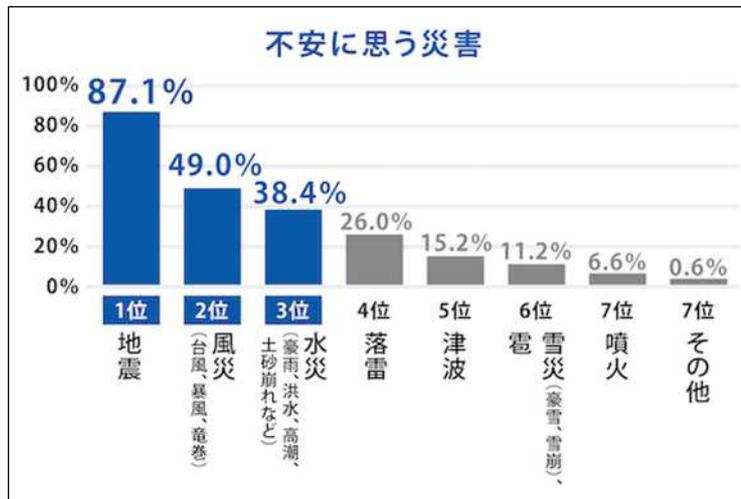
①災害に対する不安について（設問 Q1）



「とても」「やや」を合算すると、60.4%の方が災害に不安を感じています。

年代別に見てみると、年代ごとに不安を感じる割合の差は小さく、どの年代も約60%の方が災害に対して不安を感じていますが、20代が上位となっており、若年層も災害に対して不安を感じる割合が大きくなっていることが読み取れます。

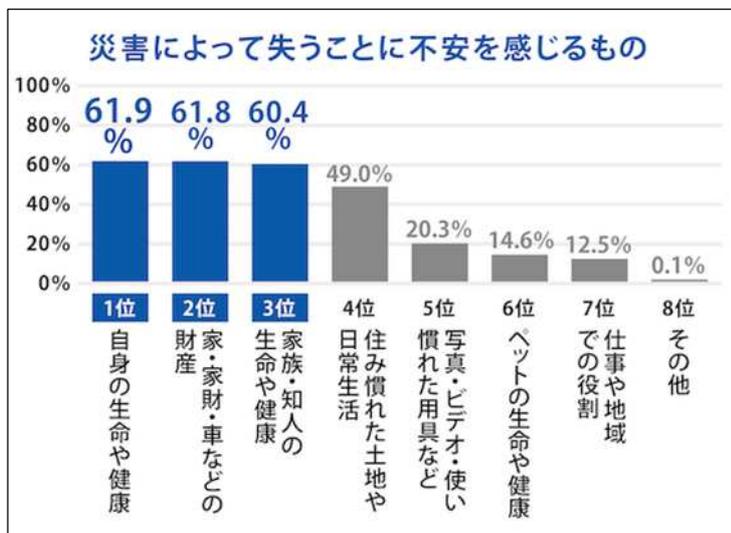
②不安に思う災害について（設問 Q2）



大半の方が地震への不安を感じており、台風などの風災や豪雨などの水災への不安が続いています。地域別の結果では、東北地方、近畿地方、四国地方において地震を不安に感じる割合が90%を超えています。なお2019年～2023年における火災保険のデータでは、対応する事故の5割近くの原因を風災や水災などの自然災害が占めています。

（別紙：【参考 1.】火災保険（住宅物件）の事故件数のうち自然災害による原因が占める割合）

③災害によって失うことに不安を感じるものについて（設問 Q3）

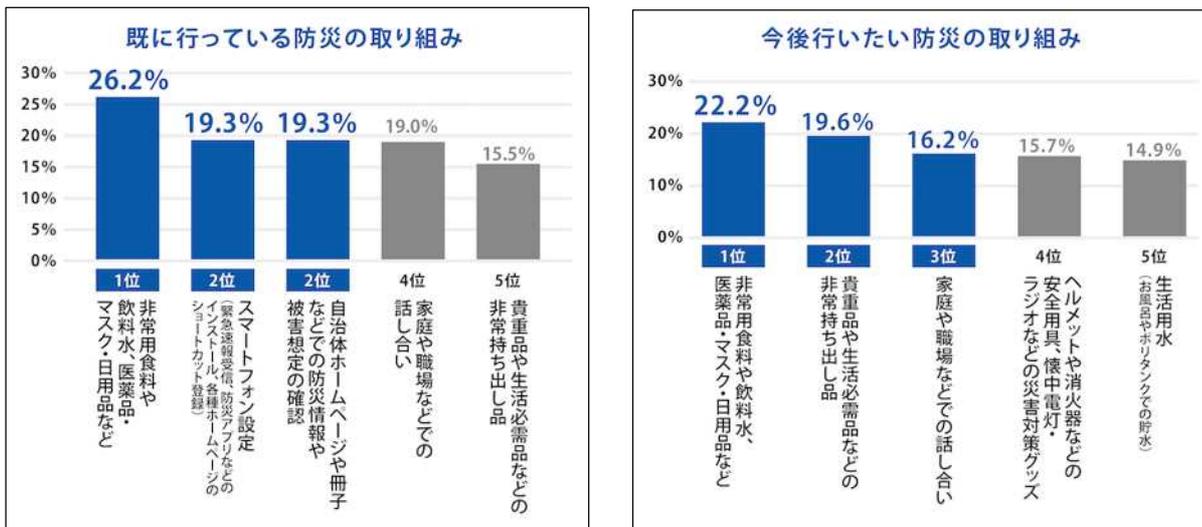


1位の「自身の生命や健康」に続いて、2位は「家・家財・車などの財産」、3位は「家族・知人の生命や健康」で、いずれも僅差の結果になりました。

⑥の結果と照らし合わせると、防災に積極的に取り組んでいる人ほど、「写真・ビデオ・使い慣れた用具」「ペットの生命や健康」「仕事や地域での役割」など、保険の補償対象外になりやすいものへの不安が大きいと感じています。

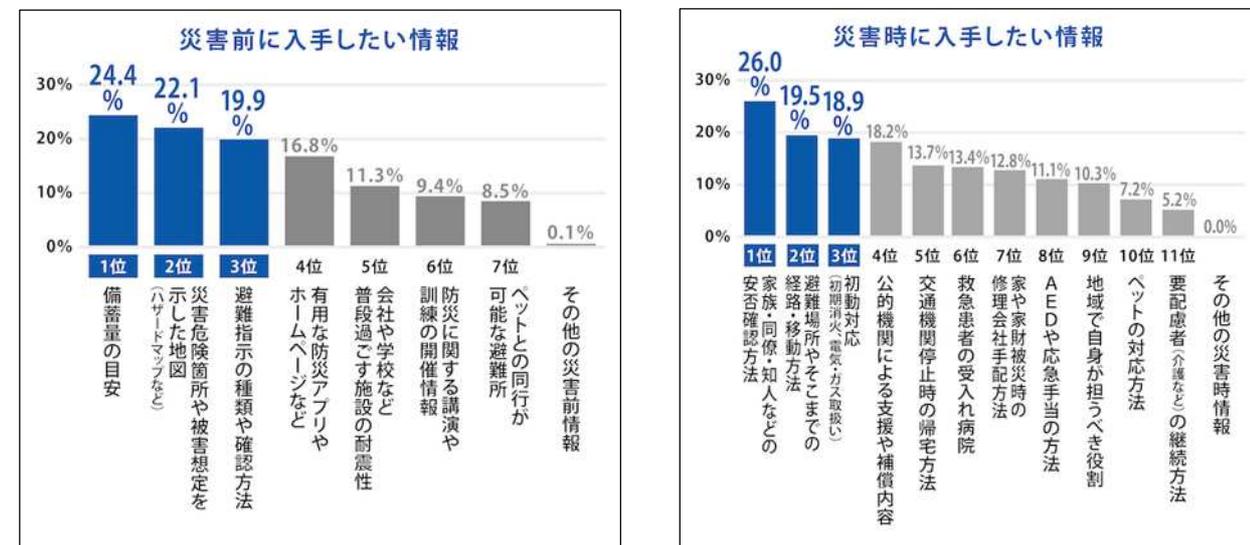
（別紙：設問 Q3【上記設問の Q6.（防災の取り組み）とのクロス分析】）

④ 既に行っている防災の取り組み・今後行いたい防災の取り組みについて（設問 Q4）



「既に行っている防災の取り組み」「今後行いたい防災の取り組み」ともに最も多かったのは「食料や飲料水などの備蓄等」でした。その他に多かった取り組みとして、既に行っている取り組みでは「スマートフォン設定」や「防災情報や被害想定の確認」、今後行いたい取り組みでは「非常持ち出し品の備蓄」や「家庭や職場などでの話し合い」という結果となりました。自然災害は、いつどこで発生するか予測できないため、万が一の時に備えて、普段から積極的に取り組んでおくことが大切です。

⑤ 災害に関して入手したい情報について（設問 Q5）

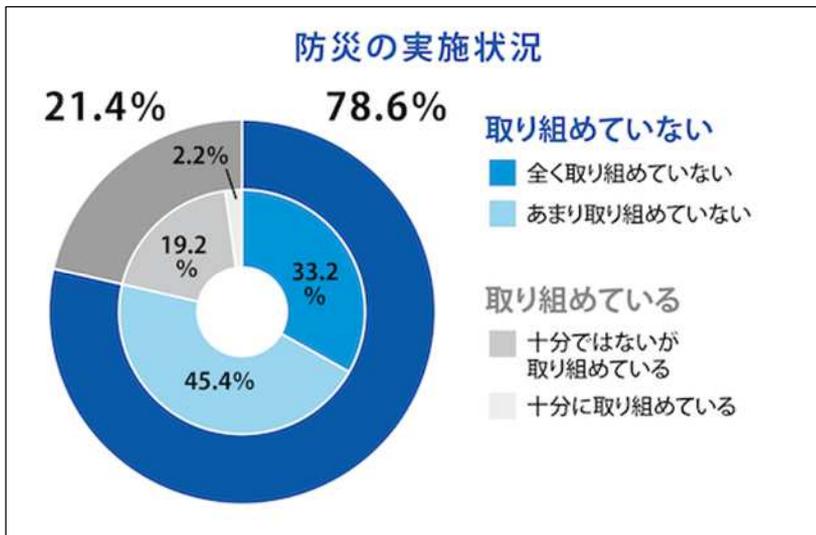


災害前に入手したい情報は「備蓄量の目安」が1位となっています。政府広報オンラインにて発信されている「今日からできる食品備蓄。ローリングストックの始め方」の記事では、食品備蓄の重要性や備蓄のコツなどについて調べることができます。以下のリンクからアクセスできますので、必要な備蓄を一度ご確認くださいことをおすすめします。

[今日からできる食品備蓄。ローリングストックの始め方](#)

災害時に入手したい情報は「安否確認方法」が1位となっています。LINEの「安否確認」機能や「Yahoo!防災速報」といったアプリを活用することで、ご家族や知人の安否や位置情報が確認できますので、活用してみたいかがでしょうか。

⑥防災の実施状況について（設問 Q6）

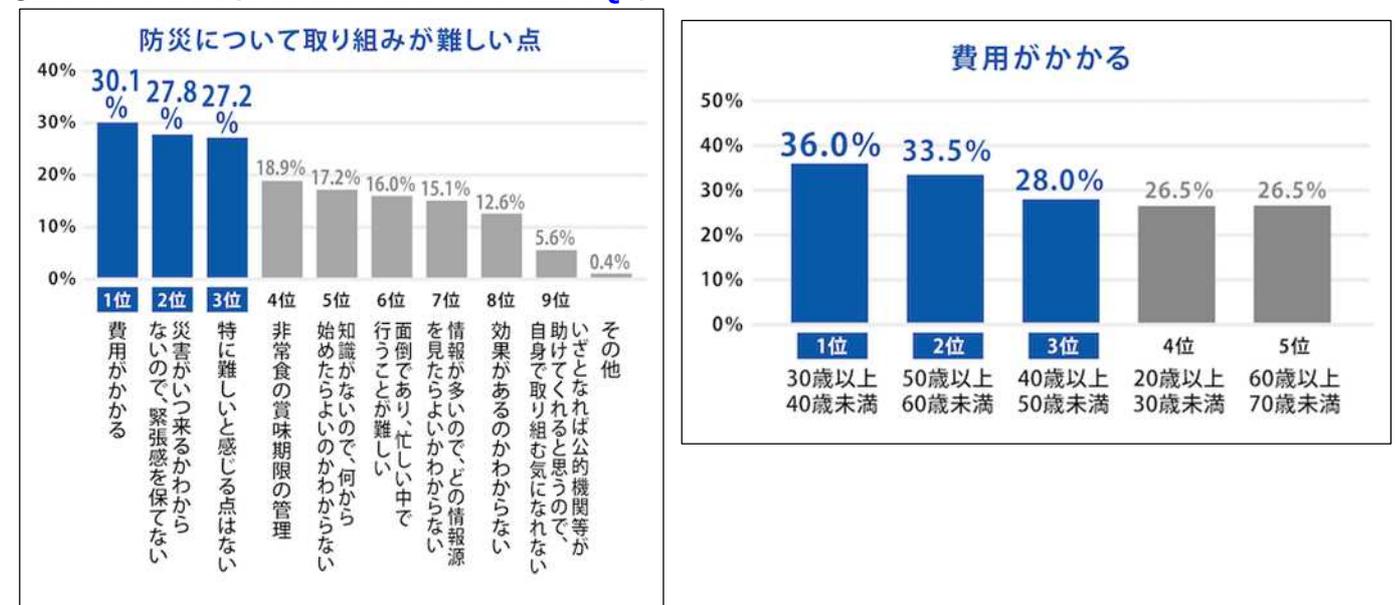


「全く」「あまり」を合わせ「取り組めていない」と回答した方が 78.6%となり、全体的に防災の取り組みが進んでいない結果となりました。

①の結果と照らし合わせると、災害に不安を感じている人でも防災に取り組めていない人の割合が 70%を超えていました。
 （別紙設問 Q6【上記設問の Q1.（不安度）とのクロス分析】）

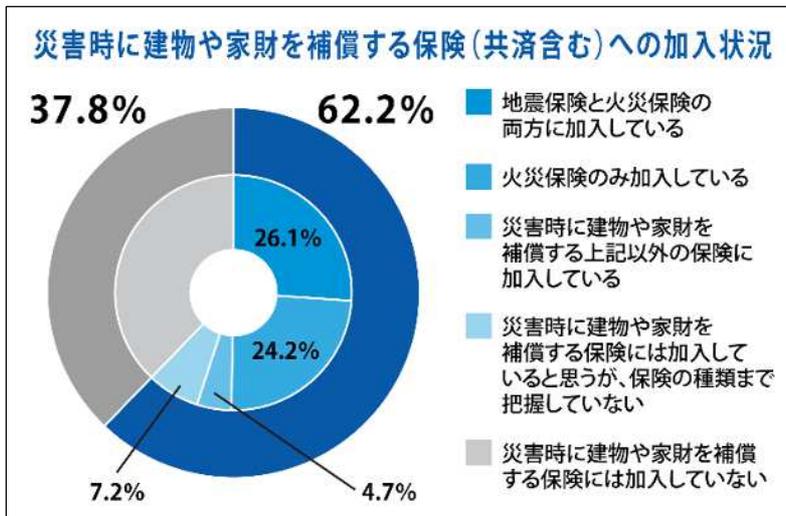
SNS やニュース等の報道により、将来の自然災害に関する情報発信が増え、これまで防災に取り組んでこなかった方にも自然災害に対する不安感が広がってきていることが考えられます。

⑦防災について取り組みが難しい点について（設問 Q7）



防災について取り組みが難しい点として最も多かったのが「費用がかかる」で 30%を超えています。年代別の分析では、「費用がかかる」と回答した割合は 30 代が最も高く、60 代が最も低くなっています。一般の消費者は、コスト面で無理せずできる備えや防災の取り組み方に関する情報提供を求めていることが読み取れます。

⑧建物や家財を補償する保険への加入状況について（設問 Q8）

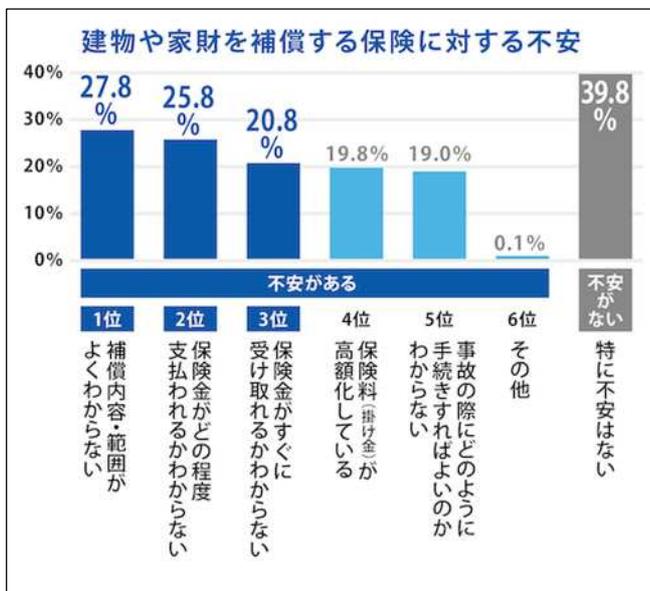


何らかの保険などに加入されている方が62.2%という結果となりました。内訳では「地震保険と火災保険の両方に加入している」と回答した方が26.1%で最も多く、次いで「火災保険のみ加入」と回答した方が24.2%となっています。

②との照合では、火災保険・地震保険に加入していない方々も、災害に対して不安を感じていることが分かります。不安がないから加入していないのではなく、別の理由から加入していないということが見受けられます。

（別紙設問 Q8【上記設問の Q2.（不安に思う災害）とのクロス分析】）

⑨建物や家財を補償する保険に対する不安について（設問 Q9）

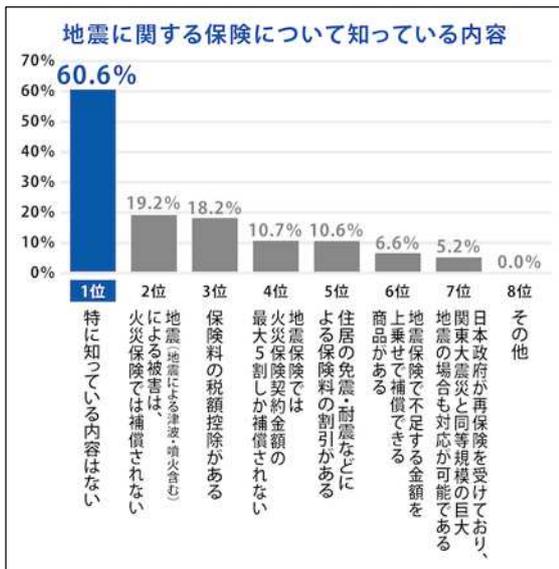


保険に対して何らかの不安があると回答した人は60.2%で、依然として補償内容や保険金支払いなどについて不安を感じている方が多い結果となりました。

⑧の結果と照らし合わせると、建物や家財を補償する何らかの保険に加入されていても、30%を超える方が補償内容や保険金に関して不安を感じています。保険の必要性は認識しつつも詳細な情報は把握できていない可能性があるため、保険会社には、補償内容や事故の実例などをより分かりやすく伝える情報発信が求められていることがうかがえます。

（別紙設問 Q9【上記設問の Q8.（保険加入）とのクロス分析】）

⑩地震に関する保険について知っている内容について（設問 Q10）



「特に知っている内容はない」が 60.6%を占めており、引き続き保険会社による地震保険に関する情報の周知が必要であることが分かります。

⑧の結果と照らし合わせると、何らかの保険に加入されている方でも、火災保険では地震リスクが補償されないことをご存知の方が 20～30%程度にとどまっています。

（別紙設問 Q10【上記設問の Q8.（保険加入）とのクロス分析】）

* 本調査データの集計結果は以下リンクからもご覧いただけます。

URL : <https://www.jihoken.jp/mado/cat1/8747/#bessi>

2. 調査概要 :

- ①サンプル数 : 1,000 名
- ②対象 : 20 代～60 代 各 200 名を以下の全国 10 地域において人口比で設定
北海道、東北、北関東・甲信、南関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄
- ③方法 : インターネット調査
- ④期間 : 2025 年 7 月 17 日～7 月 20 日
- ⑤設問 : 10 問（上位表示の項目に回答が偏らないよう質問時に項目をランダムに表示）

3. 利用条件 :

当記事の内容は、出典元として「ジェイアイ傷害火災保険（株式会社）」を明記いただける場合に限り、転載が可能です。

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ】 下記番号までお問い合わせをお願いいたします
ジェイアイ傷害火災保険株式会社 経営企画部 TEL : 03-6634-4102

以上

2025年8月28日発表

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

2025年度 災害不安に関するアンケート集計結果

設問

- Q1. あなたは、災害に不安を感じていますか。
- Q2. あなたが不安に思う災害について、あてはまるものをすべてお知らせください。
- Q3. あなたは、災害によって何を失うことを不安に感じていますか。
- Q4. あなたが「既に行っている」または「今後行いたいと考えている」防災の取り組みにあてはまるものをすべてお知らせください。
- Q5. あなたが、災害に関して今後入手したい情報について、あてはまるものをすべてお知らせください。
- Q6. あなたは、防災について十分に取り組んでいると思いますか。
- Q7. 防災の取り組みについて、あなたが難しいと感じる点は何ですか。あてはまるものをすべてお知らせください。
- Q8. あなたは、災害時に建物や家財を補償する保険（共済含む）に加入していますか。
- Q9. あなたが、災害時に建物や家財を補償する保険に対して不安を感じる事柄について、あてはまるものをすべてお知らせください。
- Q10. 地震に関する保険について、あなたのご存知の内容にあてはまるものをすべてお知らせください。

Q1. あなたは、災害に不安を感じていますか。(n=1,000)

とても不安を感じており、被害に遭う可能性が高いと考えている	13.5%	60.4% 不安が多い
やや不安を感じており、被害に遭う可能性があると考えている	46.9%	
あまり不安を感じておらず、被害に遭う可能性は低いと考えている	24.7%	39.6% 不安が少ない
まったく不安はなく、被害に遭わないと考えている	14.9%	

【上記設問の年代別分析】

		不安が多い			不安が少ない		
		合計	とても不安を感じており、被害に遭う可能性が高いと考えている	やや不安を感じており、被害に遭う可能性があると考えている	合計	あまり不安を感じておらず、被害に遭う可能性は低いと考えている	まったく不安はなく、被害に遭わないと考えている
1位	50歳以上 60歳未満	63.5%	12.5%	51.0%	36.5%	25.5%	11.0%
2位	20歳以上 30歳未満	62.5%	18.0%	44.5%	37.5%	16.5%	21.0%
3位	40歳以上 50歳未満	61.5%	14.0%	47.5%	38.5%	23.0%	15.5%
4位	60歳以上 70歳未満	58.0%	9.5%	48.5%	42.0%	37.0%	5.0%
4位	30歳以上 40歳未満	56.5%	13.5%	43.0%	43.5%	21.5%	22.0%

Q2. あなたが不安に思う災害について、あてはまるものをすべてお知らせください。

(n=851 ⇒Q1.で「まったく不安はない」と回答した人を除く。複数回答)

1位	地震	87.1%
2位	風災（台風、暴風、竜巻）	49.0%
3位	水災（豪雨、洪水、高潮、土砂崩れなど）	38.4%
4位	落雷	26.0%
5位	津波	15.2%
6位	雪災（豪雪、雪崩）、ひょう災	11.2%
7位	噴火	6.6%
	その他	0.6%

【上記設問の地域別分析】

	風災 （台風、 暴風、竜 巻）	水災 （豪雨、 洪水、高 潮、土砂 崩れな ど）	雪災 （豪雪、 雪崩）、 ひょう災	落雷	地震	津波	噴火	その他
北海道	43.2%	27.0%	37.8%	27.0%	89.2%	16.2%	8.1%	0.0%
東北	43.6%	34.5%	21.8%	23.6%	96.4%	21.8%	1.8%	0.0%
北関東・甲信	57.8%	42.2%	18.8%	43.8%	87.5%	4.7%	10.9%	0.0%
南関東	42.6%	36.7%	7.6%	25.5%	83.3%	10.0%	8.8%	0.4%
北陸	30.6%	33.3%	41.7%	19.4%	83.3%	11.1%	0.0%	0.0%
東海	49.1%	34.9%	3.8%	22.6%	86.8%	18.9%	6.6%	0.0%
近畿	55.1%	43.4%	6.6%	25.0%	90.4%	18.4%	1.5%	1.5%
中国	57.8%	53.3%	6.7%	24.4%	86.7%	13.3%	0.0%	2.2%
四国	44.4%	40.7%	3.7%	18.5%	92.6%	25.9%	0.0%	0.0%
九州・沖縄	60.6%	38.3%	6.4%	26.6%	86.2%	22.3%	14.9%	1.1%

Q3. あなたは、災害によって何を失うことを不安に感じていますか。あてはまるものをすべてお知らせください。

(n=851 ⇒Q1.で「まったく不安はない」と回答した人を除く。複数回答)

1位	自身の生命や健康	61.9%	生命や財産
2位	家・家財・車などの財産	61.8%	
3位	家族・知人の生命や健康	60.4%	
4位	住み慣れた土地や日常生活	49.0%	それ以外
5位	写真・ビデオ・使い慣れた用具など	20.3%	
6位	ペットの生命や健康	14.6%	生命や財産
7位	仕事や地域での役割	12.5%	それ以外
8位	その他	0.1%	

【上記設問の Q6. (防災の取り組み) とのクロス分析】

	生命や財産			それ以外		生命や財産	それ以外	
	自身の生命や健康	家族・知人の生命や健康	家・家財・車などの財産	住み慣れた土地や日常生活	写真・ビデオ・使い慣れた用具など	ペットの生命や健康	仕事や地域での役割	その他
十分に組み組めている (2.2%)	52.9%	29.4%	23.5%	47.1%	35.3%	23.5%	29.4%	0.0%
十分ではないが組み組めている (19.2%)	71.7%	63.1%	63.1%	51.3%	16.0%	15.5%	15.0%	0.0%
あまり組み組めていない (45.4%)	68.7%	71.1%	66.0%	54.1%	21.9%	16.6%	8.5%	0.0%
全く組み組めていない (33.2%)	56.5%	55.1%	63.0%	46.3%	20.4%	17.1%	7.9%	0.9%

Q4. あなたが「既に行っている」または「今後行いたいと考えている」防災の取り組みにあてはまるものをすべてお知らせください。(n=1,000 複数回答)

		既に行っている	今後行いたい
① 情報入手・シミュレーション			
1位	スマートフォン設定（緊急速報受信、防災アプリなどのインストール、各種ホームページのショートカット登録）	19.3%	10.9%
1位	自治体ホームページや冊子などでの防災情報や被害想定の確認	19.3%	11.8%
3位	家庭や職場などでの話し合い	19.0%	16.2%
4位	防災訓練・避難訓練などへの参加	10.6%	9.8%
5位	その他の情報入手・シミュレーション	0.0%	0.2%
② 備蓄・整理			
1位	非常用食料や飲料水、医薬品・マスク・日用品など	26.2%	22.2%
2位	貴重品や生活必需品などの非常持ち出し品	15.5%	19.6%
3位	ヘルメットや消火器などの安全用具、懐中電灯・ラジオなどの災害対策グッズ	15.1%	15.7%
4位	生活用水（お風呂やポリタンクでの貯水）	14.0%	14.9%
5位	ガソリンを常時満タン近くに給油	7.3%	7.4%
6位	予備電源（太陽電池や電気自動車のバッテリー）	7.0%	12.9%
7位	ペットの防災関連用品	3.5%	6.5%
8位	その他の備蓄・整理	0.0%	0.1%
③ 家屋対策			
1位	家具などの転倒・重量物の落下防止	15.1%	13.4%
2位	耐震性能の確認や補強	5.3%	8.5%
3位	ガラスの飛散防止・固定、強化ガラスの取り付け	4.4%	8.3%
4位	浸水防止（雨戸、土嚢や止水版の準備、排水溝の掃除）	3.3%	7.1%
5位	その他の家屋対策	0.0%	0.1%
① 上記以外			
	その他の防災の取り組み	0.0%	0.1%

Q5. あなたが、災害に関して今後入手したい情報について、あてはまるものをすべてお知らせください。

(n=1,000 複数回答)

災害前		
1位	備蓄量の目安	24.4%
2位	災害危険箇所や被害想定を示した地図（ハザードマップなど）	22.1%
3位	避難指示の種類や確認方法	19.9%
4位	有用な防災アプリやホームページなど	16.8%
5位	会社や学校など普段過ごす施設の耐震性	11.3%
6位	防災に関する講演や訓練の開催情報	9.4%
7位	ペットとの同行が可能な避難所	8.5%
	その他の災害前情報	0.1%
災害時		
1位	家族・同僚・知人などの安否確認方法	26.0%
2位	避難場所やそこまでの経路・移動方法	19.5%
3位	初動対応（初期消火、電気・ガス取扱い）	18.9%
4位	公的機関による支援や補償内容	18.2%
5位	交通機関停止時の帰宅方法	13.7%
6位	救急患者の受入れ病院	13.4%
7位	家や家財被災時の修理会社手配方法	12.8%
8位	A E Dや応急手当の方法	11.1%
9位	地域で自身が担うべき役割	10.3%
10位	ペットの対応方法	7.2%
11位	要配慮者（介護など）の継続方法	5.2%
	その他の災害時情報	0.0%

Q6. あなたは、防災について十分に取組んでいると思いますか。(n=1,000)

全く取組めていない	33.2%	取組めていない 78.6%
あまり取組めていない	45.4%	
十分ではないが取組めている	19.2%	取組めている 21.4%
十分に取組めている	2.2%	

【上記設問の Q1. (不安度) とのクロス分析】

	取組めていない			取組めている		
	合計	全く取組めていない	あまり取組めていない	合計	十分ではないが取組めている	十分に取組めている
とても不安を感じており、被害に遭う可能性が高いと考えている (13.5%)	77.0%	40.0%	37.0%	23.0%	17.8%	5.2%
やや不安を感じており、被害に遭う可能性があると考えている (46.9%)	73.6%	18.8%	54.8%	26.4%	24.9%	1.5%
あまり不安を感じておらず、被害に遭う可能性は低いと考えている (24.7%)	84.2%	30.8%	53.4%	15.8%	15.4%	0.4%
まったく不安はなく、被害に遭わないと考えている (14.9%)	86.6%	76.5%	10.1%	13.4%	8.7%	4.7%

Q7. 防災の取り組みについて、あなたが難しいと感じる点は何ですか。あてはまるものをすべてお知らせください。

(n=1,000 複数回答)

1位	費用がかかる	30.1%
2位	災害がいつ来るかわからないので、緊張感を保てない	27.8%
3位	特に難しいと感じる点はない	27.2%
4位	非常食の賞味期限の管理	18.9%
5位	知識がないので、何から始めたらよいかかわから	17.2%
6位	面倒であり、忙しい中で行うことが難しい	16.0%
7位	情報が多いので、どの情報源を見たらよいかかわからない	15.1%
8位	効果があるのかわからない	12.6%
9位	いざとなれば公的機関等が助けてくれると思うので、自身で取り組む気になれない	5.6%
	その他	0.4%

【上記設問の年代別分析】

	費用がかかる	災害がいつ来るかわからないので、緊張感を保てない	面倒であり、忙しい中で行うことが難しい	効果があるのかわからない	知識がないので、何から始めたらよいかかわからない	非常食の賞味期限の管理	情報が多いので、どの情報源を見たらよいかかわからない	いざとなれば公的機関等が助けてくれると思うので、自身で取り組む気になれない	その他
30歳以上 40歳未満	36.0%	30.0%	22.0%	13.0%	18.0%	17.5%	15.0%	4.5%	0.0%
50歳以上 60歳未満	33.5%	32.5%	18.5%	14.0%	17.5%	21.0%	12.0%	5.0%	0.5%
40歳以上 50歳未満	28.0%	22.5%	11.0%	10.5%	16.0%	18.5%	14.0%	5.0%	0.0%
20歳以上 30歳未満	26.5%	19.0%	14.0%	13.0%	20.5%	15.0%	19.0%	10.0%	0.0%
60歳以上 70歳未満	26.5%	35.0%	14.5%	12.5%	14.0%	22.5%	15.5%	3.5%	1.5%

Q8. あなたは、災害時に建物や家財を補償する保険（共済含む）に加入していますか。（n=1,000）

地震保険と火災保険の両方に加入している	26.1%	加入 62.2%
火災保険のみ加入している	24.2%	
災害時に建物や家財を補償する上記以外の保険に加入している	4.7%	
災害時に建物や家財を補償する保険には加入していると思うが、保険の種類まで把握していない	7.2%	
災害時に建物や家財を補償する保険には加入していない	37.8%	未加入 37.8%

【上記設問の Q2.（不安に思う災害）とのクロス分析】

	地震保険と火災 保険の両方に加 入している	火災保険のみ加 入している	災害時に建物や 家財を補償する 上記以外の保険 に加入している	災害時に建物や 家財を補償する 保険には加入し ていると思うが、 保険の種類まで 把握していない	災害時に建物や 家財を補償する 保険には加入し ていない
不安に思う災害					
地震	31.6%	27.1%	4.0%	7.6%	29.7%
風災（台風、暴風、 竜巻）	28.1%	29.0%	3.8%	9.4%	29.7%
水災（豪雨、洪水、 高潮、土砂崩れなど）	26.0%	27.8%	5.8%	7.6%	32.7%
落雷	32.1%	27.6%	6.3%	6.8%	27.1%
津波	21.7%	27.9%	6.2%	7.8%	36.4%
雪災（豪雪、雪崩） 、ひょう災	35.8%	20.0%	8.4%	7.4%	28.4%
噴火	35.7%	30.4%	3.6%	3.6%	26.8%

Q9. あなたが、災害時に建物や家財を補償する保険に対して不安を感じる事柄について、あてはまるものをすべてお知らせください。(n=1,000 複数回答)

1位	補償内容・範囲がよくわからない	27.8%	不安がある
2位	保険金がどの程度支払われるかわからない	25.8%	
3位	保険金がすぐに受け取れるかわからない	20.8%	
4位	保険料（掛け金）が高額化している	19.8%	
5位	事故の際にどのように手続きすればよいかわからない	19.0%	
6位	その他	0.1%	
	特に不安はない	39.8%	不安はない

【上記設問の Q8.（保険加入）とのクロス分析】

保険加入状況	保険金がどの程度支払われるかわからない	補償内容・範囲がよくわからない	保険金がすぐに受け取れるかわからない	事故の際にどのように手続きすればよいかわからない	保険料（掛け金）が高額化している	その他	特に不安はない
地震保険と火災保険の両方に加入している（26.1%）	32.6%	34.1%	28.7%	24.9%	24.9%	0.0%	24.1%
火災保険のみ加入している（24.2%）	34.3%	33.5%	24.8%	20.7%	21.5%	0.0%	28.1%
上記以外の保険に加入している（4.7%）	36.2%	23.4%	27.7%	29.8%	19.1%	0.0%	19.1%
加入していると思うが、保険の種類まで把握していない（7.2%）	29.2%	34.7%	33.3%	23.6%	19.4%	0.0%	20.8%
加入していない（37.8%）	13.8%	19.0%	9.5%	11.6%	15.3%	0.3%	64.3%

Q10. 地震に関する保険について、あなたご存知の内容にあてはまるものをすべてお知らせください。

(n=1,000 複数回答)

1位	特に知っている内容はない	60.6%
2位	地震（地震による津波・噴火含む）による被害は、火災保険では補償されない	19.2%
3位	保険料の税額控除がある	18.2%
4位	地震保険では火災保険契約金額の最大5割しか補償されない	10.7%
5位	住居の免震・耐震などによる保険料の割引がある	10.6%
6位	地震保険で不足する金額を上乗せで補償できる商品がある	6.6%
7位	日本政府が再保険を受けており、関東大震災と同等規模の巨大地震の場合も対応が可能である	5.2%
8位	その他	0.0%

【上記設問の Q8.（保険加入）とのクロス分析】

保険加入状況	地震（地震による津波・噴火含む）による被害は、火災保険では補償されない	住居の免震・耐震などによる保険料の割引がある	保険料の税額控除がある	地震保険では火災保険契約金額の最大5割しか補償されない	地震保険で不足する金額を上乗せで補償できる商品がある	日本政府が再保険を受けており、関東大震災と同等規模の巨大地震の場合も対応が可能である	その他	特に知っている内容はない
地震保険と火災保険の両方に加入している（26.1%）	31.4%	21.1%	38.3%	19.5%	13.0%	8.4%	0.0%	41.4%
火災保険のみ加入している（24.2%）	22.7%	7.9%	16.9%	10.3%	4.1%	4.1%	0.0%	55.0%
上記以外の保険に加入している（4.7%）	23.4%	17.0%	23.4%	23.4%	10.6%	12.8%	0.0%	23.4%
加入していると思うが、保険の種類まで把握していない（7.2%）	16.7%	9.7%	11.1%	9.7%	9.7%	11.1%	0.0%	55.6%
加入していない（37.8%）	8.5%	4.5%	5.8%	3.4%	2.6%	1.6%	0.0%	83.1%

（注）火災保険でも地震火災費用保険金など、被害内容により一部補償される特約がありますが、補償内容が地震保険と比較して大幅に限定されているため、一般的な知識として上記の設問としています。

【参考 1.】火災保険（住宅物件）の事故件数のうち自然災害による原因が占める割合

事故種別	件数	割合	区分
風災・ひょう災	1,152,497	34.2%	自然災害 49.6%
雪災	279,780	8.3%	
落雷	197,048	5.9%	
水災	40,720	1.2%	
水濡れ	272,749	8.1%	その他 50.4%
火災・破裂・爆発	37,913	1.1%	
その他	1,386,221	41.2%	
合計	3,366,928	100.0%	

* 出典：損害保険料率算出機構「火災保険・地震保険の概況/火災保険住宅物件事故種別支払統計表（2019-2023 年度を合計）」

* 上記統計では落雷は自然災害以外に分類されていますが、当調査では自然災害に含めています。

* その他は、盗難、物体の落下、破損・汚損、電氣的・機械的事故等に対する保険金を集計したものです（不明を含みます）。

* 地震保険の事故件数は上記件数に含まれていません。

* 割合に関して小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはなりませんのでご注意ください。

【参考 2.】補償選択型住宅用火災保険「ieho いえほ」

災害に対して必要な準備は多々ありますが、その一つに保険加入があります。弊社では、不安に思う災害に合わせて補償をカスタマイズ可能なインターネット専用火災保険「ieho いえほ」を取り扱っております。

【参考 3.】地震補償を 100%にする「地震危険等上乗せ補償特約」

Q10 の記載の通り、地震保険では火災保険の契約金額の最大 50%までの補償となっています。これでは全壊であっても住宅の再建が困難であり、差額の 50%分の上乗せ補償が可能な商品が東日本大震災後に開発されました。弊社のインターネット専用火災保険「ieho いえほ」では、「[地震危険等上乗せ補償特約](#)」の選択が可能であり、地震補償を最大 100%※にすることができます。

内閣府の「防災情報のページ」によると、東日本大震災で住宅が全壊した場合、住宅再建には平均 2,500 万円もの費用がかかっていました。一方、公的支援として受給できた金額は、善意による義援金を合わせても約 400 万円にとどまり、住宅再建に必要な費用の 16%ほどの金額であったとされています。地震保険の 50%補償では、公的支援金を加えても住宅再建費用には満たず、被災後の生活再建のためには地震補償を最大 100%※にできる保険に加入することをおすすめしています。

※最大 100%の補償となるのは、地震保険の保険金額を火災保険の 50%に設定した場合です。

以上